

★当日最大は4.5キロだったが、南伊豆では7～8キロも珍しくない



▲▼2～3キロ級のハチビキも交じった



▲港集合は5時。美しい朝焼けを眺めながら釣り場へ向かう

★メダイは強烈な引きと上品な食味が魅力

# 竿を締め込むパワフルファイト 神子元島周りのメダイが熱い!

南伊豆下田須崎港出船

撮影・訓覇啓雄

▲頻りに交じるサハはいいエサになるので、まな板とナイフを用意したい



▲船宿支給の付けエサはサンマの切り身  
▼底から10～20メートルほどの指示ダナでコマセをまき置き竿を待つ



▲右ミヨシ氏が5尾でトップ



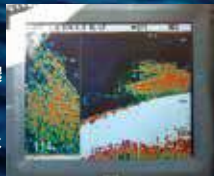
▲タモ入れは手が空いている人がフォローしよう



▲ハチビキはメダイと肩を並べる美味魚



▶魚探がとらえた濃厚な反応  
▼釣り場は当日狙った神子元島周りのほか状況で利島沖へも



▲途中から急に潮が速くなり、船の後方に潮目が発生。無風にもかかわらず白波が立つ

●稲荷丸ではリクエストでメダイに出船



(詳細は58ページ参照)

9月初旬ごろから南伊豆エリアでメダイの食いが上向き、強烈な引きで釣り人を楽しませている。  
下田須崎港の稲荷丸での取材日は、神子元島周りの水深120～150メートル付近をコマセ釣りで狙った。速潮に苦戦し全般に食い渋ったものの、3～4.5キロ級のメダイがトップ5尾、2～3キロ級のハチビキが釣果に彩りを添えた。船長によれば反応はバツチリ出ているとのことだから、潮が緩めば数型ともに釣果も上向くに違いない。

●アベレージは3キロ級



●タックルはメダイのパワフルな引きに対応する丈夫な青物用ワンピースロッドと中型電動リールの組み合わせ



●南伊豆下田須崎港・稲荷丸 森一徳船長

